

分野	1. 土木	工種	3. 道路、7. その他			
技術の名称	高耐食性ワイヤロープ(3×7)		NETIS 番号	-		
副題(商標名等)	LPコート21		登録(申請)年月日	-		
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の口をチェック下さい)					
	<input checked="" type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等が開発したもの。				
	<input type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの				
効果	右番号から選択	1 コストの縮減	6 施工性の向上	分類	右番号から選択	
	3・5	2 安全性向上	7 その他		2	
		3 品質の向上	効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください			1 工法
		4 工期の短縮				2 材料
		5 環境				3 機械
4 情報						
5 その他						
開発者 (提案者)	会社名	JFEテクノワイヤ株式会社				
	住所	千葉県中央区新浜町1番地	TEL	043-262-2164		
問合せ先	会社名	JFEテクノワイヤ株式会社				
	担当部署	鋼線営業部(大阪駐在)				
	氏名	高岡 晃生				
	住所	大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ17階				
	TEL	06-6342-0803	FAX	06-6342-0806		
	URL	http://www.jfe-techno-wire.co.jp/				
	E-mail	a-takaoka@jfe-techno-wire.co.jp				
概要	従来のガードケーブル・落石柵・落石網等に使用されるワイヤロープは、亜鉛めっき処理のままが一般的だったが、近年優れた防食性・耐候性・景観性等多岐に渡るニーズが要求されるようになってきた。このニーズに応えるべく、当製品では、高耐久性ポリエチレン被覆により防食性・耐候性を大幅に改善。さらには、ダークブラウン色等の被覆色による景観性改善、高強度の素材採用による軽量化にも対応している。					
特徴	素線一本ごとに心線と被覆材が完全に密着された高耐久性ポリエチレンを被覆しているため、従来の亜鉛めっき処理ままあるいは、ロープ全体を被覆したものに比べ、高寿命を実現します。高強度のワイヤを素線とし、高耐久性ポリエチレン被覆をしているため、従来の亜鉛めっき処理ワイヤロープ(3×7)のロープ径と同等の素材破断荷重(kN)を実現するとともに、心線径を細くしているため、ロープ全体の軽量化も実現しています。					
施工方法	従来と同じ。					
施工・材料単価(従来との比較)	材料費:1,080円/m(税抜き・2014年4月現在) 従来品(亜鉛めっき処理仕様)の材料費:590円/m(税抜き・2014年4月現在)					
適用条件・範囲	当社従来品(亜鉛めっき処理仕様)のロープ径と同等の破断荷重(kN)を有しているため、所定の素材強度を満足している。但し、索端金具・巻き付けグリップ等の付属品を取り付けた製品の品質は、施工会社が保証する。					
施工・使用後の環境への影響	高耐食性化に伴い製品寿命の向上に寄与。 高潮・津波対策等の盛土道路の景観性、透過性、圧迫感軽減に寄与。 「環境ホルモン物質」を一切含有せず、環境配慮にも寄与。					
施工・使用上の留意点	施工に当たっては、交通その他の安全に留意し確実に行わなければならない。 ロープの張力が大きく防護柵・網の機能に影響するため、所定の初張力を与える。					
実績状況(相手先、件数など)	東京都 三宅支庁、神奈川県 県西土木事務所、山梨県 中北建設事務所 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部、北海道 室蘭建設管理部 等					
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)	該当なし					

1.特徴

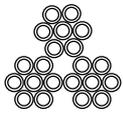
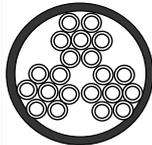
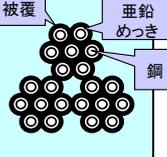
従来製品			LP21
亜鉛めっき	亜鉛めっき +塗装	亜鉛めっき +外周被覆	亜鉛めっき +素線被覆
一般的な製品	耐食性の向上および 景観に合わせた着色 が可能。	さらに耐食性を向上 させたタイプ。 ただし、被覆が破れた 場合には、素線 全部に影響が及ぶ。	素線毎に被覆する ことで、a~cよりも ロープとして長寿命 である。 また、着色が可能。
			
a	b	c	d

図1. LP21の特長

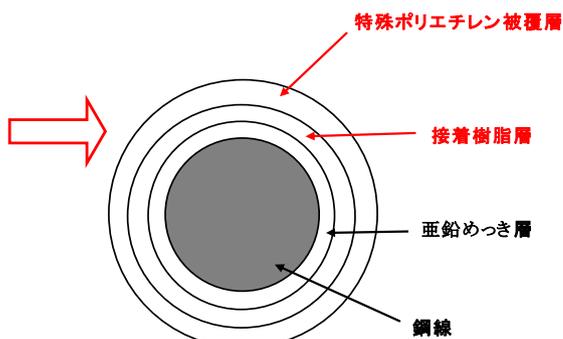


図2. 拡大

	従来品3×7	LPコート21
0hr. 経過後		
7,500hr. 経過後		

図3. 従来品との比較(塩水噴霧試験)

3.仕様

外径 (mm)	標準長さ (m)		荷姿
φ 12	500	1,000	木枠
φ 14			
φ 16			
φ 18			

4.施工



変化なし

写真-1 平成19年施工(5年経過)